



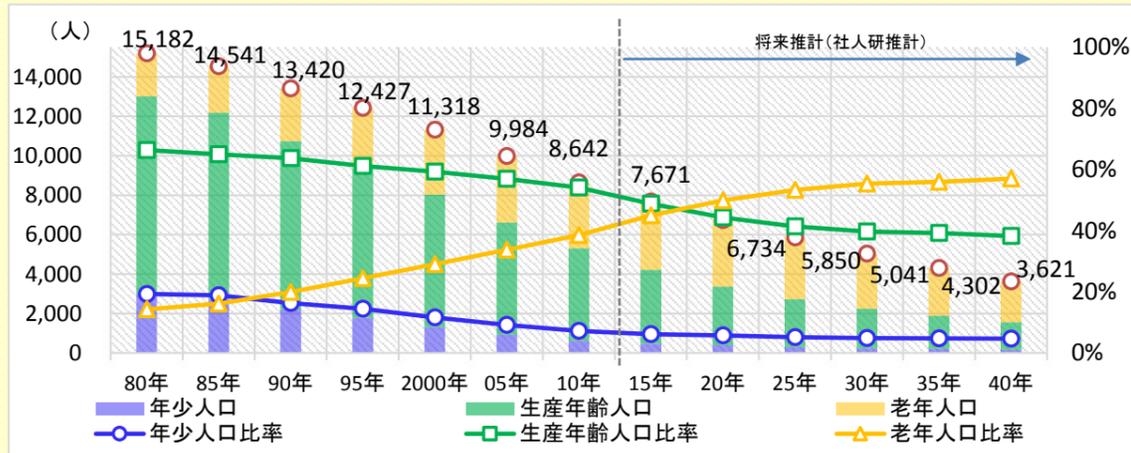
# 吉野町人口ビジョン【概要版】



## I 人口の推移と将来推計

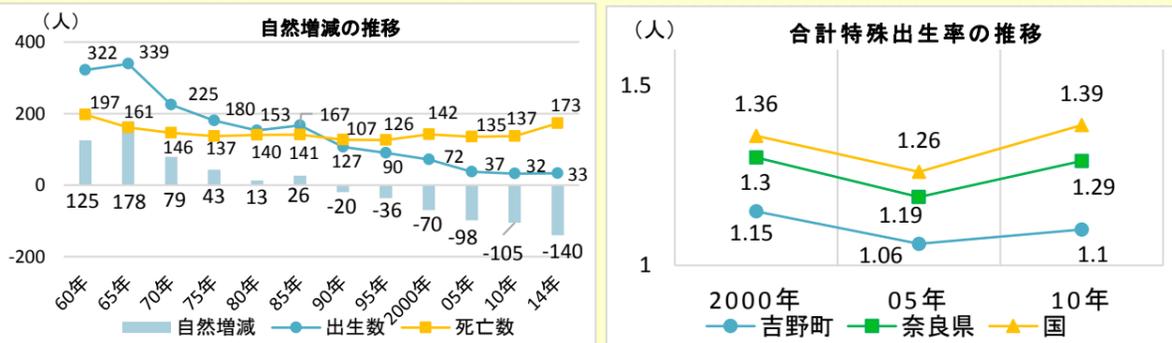
### 総人口

- ・年少人口及び生産年齢人口ともに減少傾向にあることから、総人口は年々減少傾向が続いているが、老年人口は増加傾向にある。
- ・社人研推計では2040年(平成52年)に約3,621人まで減少。



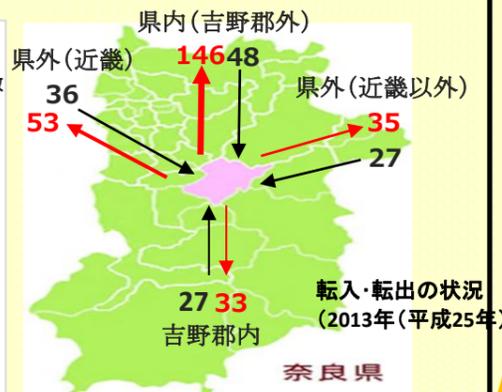
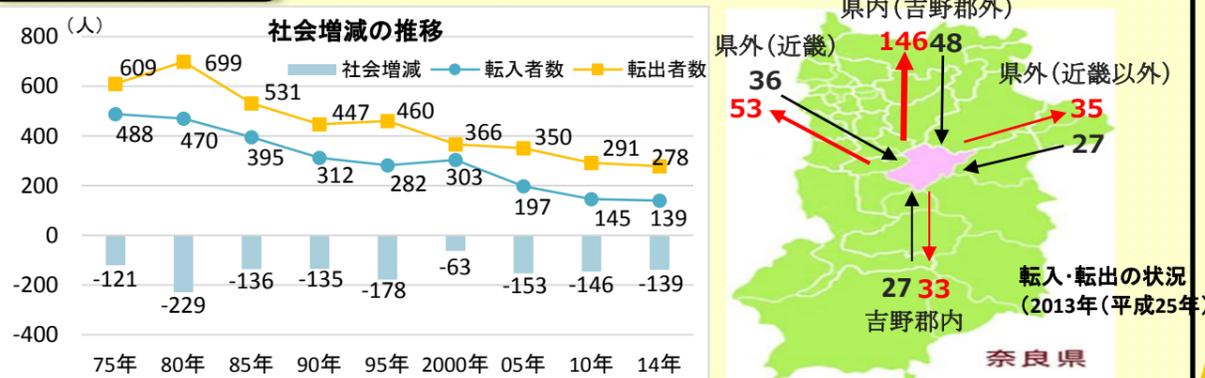
### 自然増減

- ・1990年(平成2年)に自然減に転じて以降、減少幅を拡大しながら推移。
  - ・合計特殊出生率についても国、県と比して低水準で推移。
- ※合計特殊出生率…一人の女性が、一生の間に生むであろう子どもの数を表し、15歳から49歳の女性の年齢ごとの出生率を合計した数字



### 社会増減

- ・1980年(昭和55年)代後半から1990年(平成2年)代前半のいわゆるバブル期を境に転入者、転出者ともに減少傾向にあるものの、転出超過の状況が続いている。

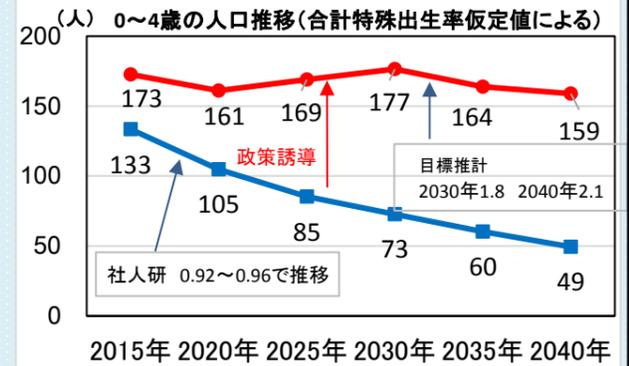


## II 人口の将来展望

### 将来展望

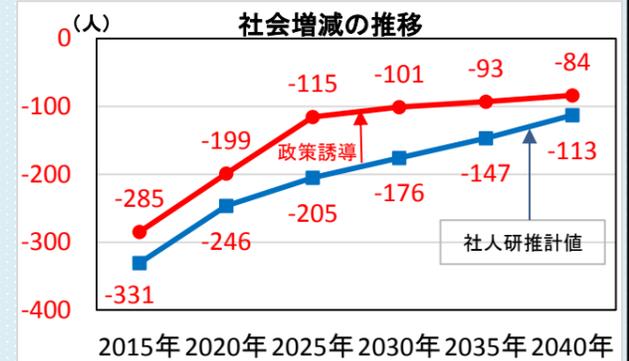
#### 合計特殊出生率

2020年(平成32年)に1.29、2030年(平成42年)に1.8程度、2040年(平成52年)には町民希望出生率である2.1を政策誘導により実現。現状の年間30人前後の出生数を維持する。

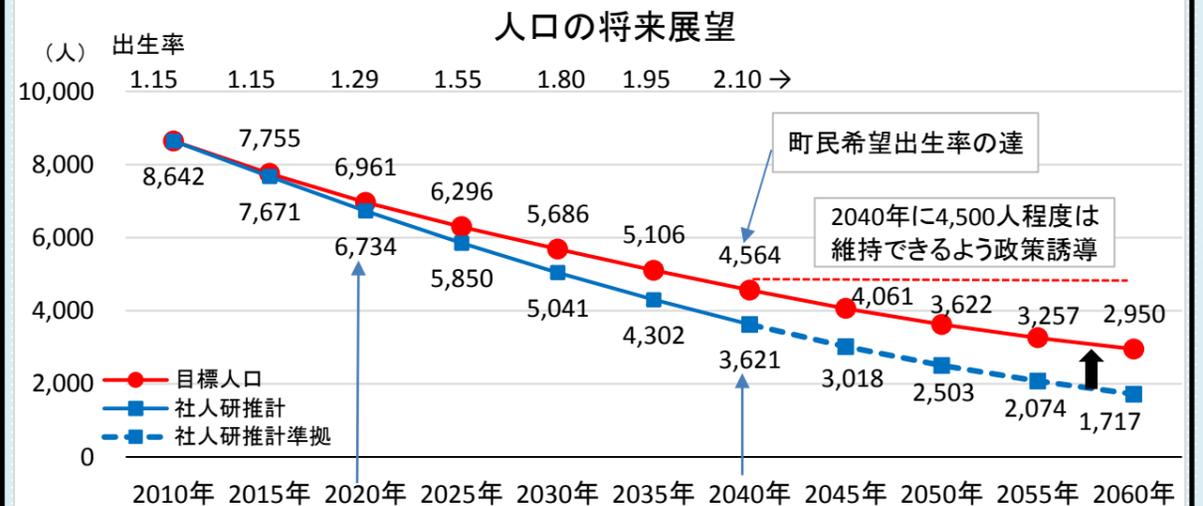


#### 社会増減

生産年齢人口を中心としたUターン促進、転出の抑制、転入者増加策によって社会減の減少幅を抑制。社人研の推計より、1年間で10人から15人程度の転入増加(転出抑制)を図る。



目標人口 2020年：7,000人程度の維持を目指す  
2040年：4,500人を下回らないよう、政策誘導



総合戦略の推進により改善